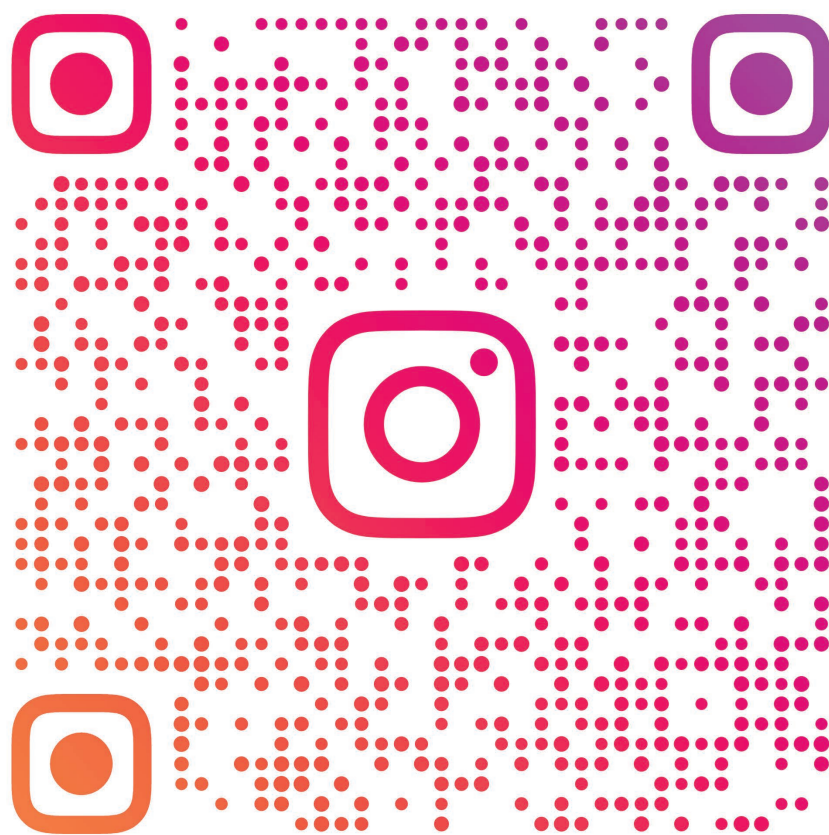


とだ 議会だより

No.225
3 令和6年
月定例会

発行：2024年5月1日

Instagram



TODASHI_GIKAI

#新しい季節
#何かが始まる春

- 議会の新体制が決定 ▶ 02
- 誰一人取り残さない過去最大予算始まる ▶ 04
- 各派代表者による総括質問 ▶ 10
- 議会 Instagram はじめました！裏表紙をご覧ください ▶ 24



戸田市議会 検索

<https://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/>

表紙：議会 Instagram QRコード

議会の新体制が決定

2月5日、6日にかけて役職改選が行われ、新たな正副議長と、各委員会の構成が決まりましたのでお知らせします。

▼正副議長からごあいさつ



石川 清明 議長 浅生 和英 副議長

このたび、議員各位のご推挙により、議長並びに副議長に就任いたしました。

本市議会では、災害時における議会制民主主義を止めない仕組みであります「戸田市議会 DCP (Democracy Continuity Plan)」の策定をはじめ、多様性及び男女平等の尊重への意識変革や、市民にとって親しみやすい身近に感じられる議会を目指すべく、「服装の自由化」の実施やSNSの開設をいたしました。

今後も引き続き、市民の皆様の信託に全力で応えるため、最善の努力を尽くす決意でございます。ご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

▼各委員会の構成が決まりました

常任委員会

総務常任委員会

市行財政運営、市有財産管理、消防行政、戸田ポートレース事業



文教・建設常任委員会

学校運営、教育施設、社会教育活動、建設計画並びに事業、都市計画並びに事業、交通安全、住宅行政



健康福祉常任委員会

社会福祉事業、国民健康保険事業、医療・保健行政、介護保険事業、子供・青少年の育成



市民生活常任委員会

市民生活事業、上下水道・河川管理事業、経済・環境事業



区分	委員長	副委員長	委員							
特別委員会	まちづくり・交通対策特別委員会	榎本	酒井	むとう	三輪	野澤	山崎	細田	熊木	
特別委員会	議会改革特別委員会	三浦	斎藤	小金澤	竹内	林	矢澤	本田	遠藤	
特別委員会	議会広報委員会	伊東	花井	みうら	佐藤	宮内	古屋	峯岸	そごう	
特別委員会	議会運営委員会	遠藤	佐藤	古屋	野澤	本田	斎藤	酒井	三浦	榎本

令和6年戸田市議会年間活動計画

本市議会では、4つの常任委員会における「年間活動テーマ」の取り組みや、議会改革特別委員会での取り組みなどを積極的に行っています。

今年も「戸田市議会年間活動計画」を基に活発な議員間討議を行い、執行部に対してさまざまな政策立案・政策提言を行ってまいります。

過去のテーマなどはこちら



常任委員会の年間活動テーマとスケジュール

委員会名	年間活動テーマ	テーマの背景
総務	能登半島地震を受けての避難所運営の在り方について	安心・安全に過ごすことができる避難所運営の在り方について調査・研究していく。
文教・建設	特色ある学校づくりについて	本市の先進的な学校づくりと比較し、他市のさまざまな特色ある学校づくりを調査・研究していく。
健康福祉	障害福祉を施策展開するために～差別解消、合理的配慮、就労強化を目指して～	障害理解を市民などに広く知ってもらい、共生社会の実現のために調査・研究していく。
市民生活	文化・スポーツ施策について	スポーツセンターの再整備事業や芸術文化活動の推進に係る各施策について調査・研究していく。

テーマについて執行部にヒアリングを行うなど、調査・研究を進めます。



テーマに関連する団体と懇談会を開催し、ご意見を伺うこともあります。



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
テーマ設定			協議	視察 検証			協議		視察 検証	協議		まとめ

先進自治体などを視察し、本市に生かさないか、検証を行います。



1年間の活動の結果をまとめ、執行部に提言書などを提出します。



議会改革特別委員会での主な取り組み

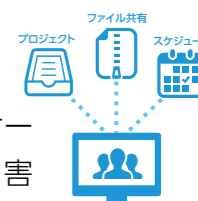
議会におけるデータ活用について

経験などに頼るだけでなく、合理的根拠に基づくことで、議会としてのさらなる政策立案・評価能力の向上を図ることを目的に、議会におけるデータ活用の手法などについて研究する。



議会におけるグループウェアの導入について

議会内でのコミュニケーションの円滑化や、災害発生時における迅速な被害状況の収集などを目的として、グループウェアの導入に向けて協議する。



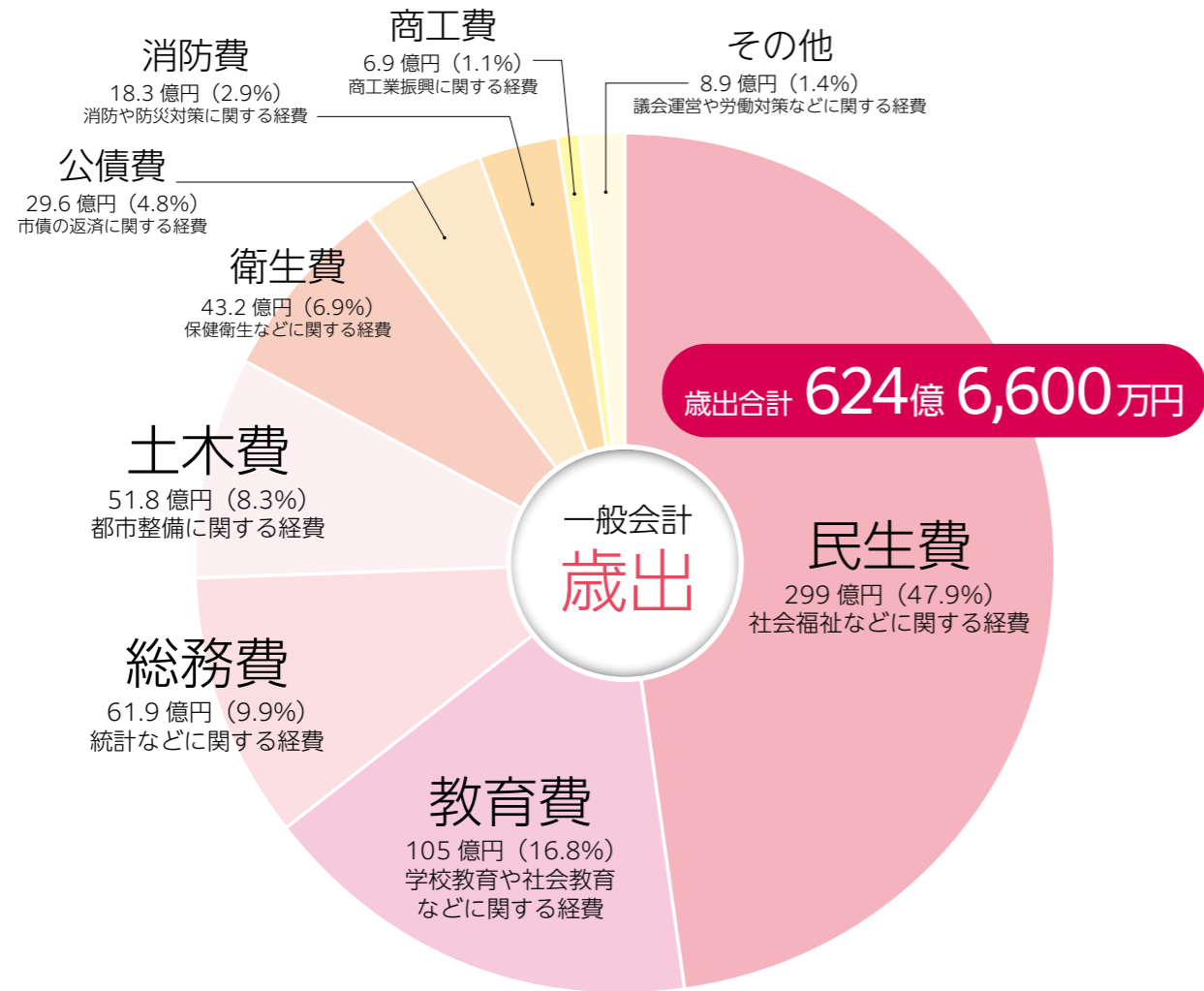
令和6年度
予算決まる

誰一人取り残さない過去最大予算始まる

2月21日から3月26日にかけて開かれた3月定例会では、昨年度と比較して10.6%の増となった令和6年度予算案が示され、委員会での審査を経て、慎重審議された結果、全会一致で可決されました。

令和6年度予算のあらまし		前年度比
一般会計	624億6,600万円	5.8% ↑
特別会計	250億8,591万円	6.4% ↑
*企業会計	139億7,094万円	52.4% ↑
令和6年度予算総額	1,015億2,285万円	10.6% ↑

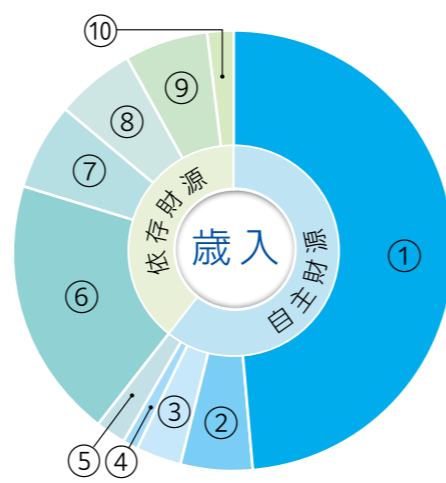
*企業会計：市における水道および下水道事業会計



令和6年度の一般会計予算は、昨年度と比較して5.8%の増加となりました。増加の主な要因としては小学校教室棟増築・改築等工事のほか、介護給付費・訓練等給付費、児童手当、認定こども園施設整備に関する費用の増加などが挙げられます。

歳入合計 624億6,600万円

①市 税	304 億円
②繰入金	34 億円
③諸収入	19.8 億円
④繰越金	7.5 億円
⑤その他自主財源	13.3 億円
⑥国庫支出金	120.5 億円
⑦県支出金	40 億円
⑧地方消費税交付金	35.2 億円
⑨市 債	39.2 億円
⑩その他依存財源	11.1 億円



※百万円以下については、端数調整を行っています

「子ども応援」「100年健康」「防災」3大プロジェクトから

令和6年度 注目事業

※千円単位は四捨五入

子ども応援 高校3年生相当までの医療費支給制度の拡大

こども医療費の通院費の支給対象を、令和6年7月診療分から高校3年生相当まで拡大します。

8,441 万円

子ども応援 小中学校の安全性向上のためにフェンスとオートロックを整備

市内小中学校の敷地外周部への安全フェンスの設置、来校者用玄関のオートロック化を行います。*美笹中学校は対策済

1億9,911 万円

100年健康 高齢者補聴器購入費助成

他者とのコミュニケーションの確保など、積極的な社会参加を促進するため、購入費の一部を助成します。
*対象者：一定要件を満たす65歳以上の市民
*1人1回限り4万円を上限に助成

200 万円

100年健康 带状疱疹ワクチンの接種費用助成

任意接種である带状疱疹ワクチンの接種費用について、接種費用の一部を助成します。
*対象者：50歳以上の市民
*生ワクチン4,000円または不活化ワクチン1万円×2回を上限に助成

2,996 万円

防災 雨水貯留管整備

戸田駅西口及び新曽地区北大通り周辺の浸水被害の軽減を図るため、令和3年度から工事着手し、令和6年度末の完成を予定しています。

54億4,950 万円(企業会計)

防災 災害備蓄品の強化

能登半島地震の被災地で特に問題となった生活用水の不足と電源不足への対応のため、トイレ、非常用電源などを新たに購入します。

4,156 万円

予算 議案第39号 令和6年度戸田市一般会計予算

賛成 「戸田市3大プロジェクト」を中心とした、考え抜かれた予算編成である
戸田の会 野澤 茂雅 議員

こども医療費の支給対象拡大や带状疱疹ワクチンの助成、保育の質・魅力向上に向けた支援、高齢者補聴器購入費の助成、主体的に生き抜く力を育成するための教育施策、学校防犯システムの強化、災害時に迅速に対応するための施策、市内経済の活性化対策、ボール遊びができる公園の整備や、スポーツ・レクリエーション活動、芸術文化活動など、豊かな生活環境及び豊かな心を育むまちづくり、そして地域イベントの開催も予定されており、時宜にかなった予算である。

賛成 「誰一人取り残さない市政」の実現ため、国の交付金を待つことなく、市の独自財源で迅速な物価高騰対策を
日本共産党戸田市議団 本田 哲 議員

令和6年度予算では、党市議団が市民と共に実現を求めてきた、こども医療費無償化の拡大、高齢者向けの補聴器購入費助成、民間保育士の確保と待遇改善、防災・浸水対策の強化、地球温暖化解消・脱炭素社会に向けての対策強化などが予算化された。しかし、市民生活においては物価高騰に対し賃金上昇が追い付いてない。国の交付金を待つことなく、市の独自財源で、上下水道基本料金の免除、給食費の無償化、敬老祝品1万円贈呈などの物価高騰の実施を求める。



主な議案

今定例会では、令和6年度予算を含め、市長提出議案が59件、議員提出議案2件が提出され、いずれも可決・同意されました。
ここでは、賛否が分かれ、討論が行われた議案などを紹介します。

条例 議案第14号 戸田市立学校屋外運動場夜間照明施設使用料条例の一部を改正する条例 可決(賛成22人 反対3人)

反対 市民のスポーツ・レクリエーション振興のため、市内小中学校の体育館空調使用料は、市が全額負担すべき

日本共産党戸田市議団 本田 哲 議員

市内小中学校の体育館を使用する団体と使用しない市民との公平性確保のため、体育館の空調使用料を1時間500円に設定することだが、体育館開放は市民のスポーツ・レクリエーション振興のために行われており、さらなる推進が必要。また、熱中症から市民の命を守ることの重要性を考慮すれば、体育館の空調使用料は市が負担すべきである。

賛成 一部の市民に限定してサービスを無料にすることは、公平性に欠ける

戸田の会 浅生 和英 議員

体育館のエアコン使用料を500円に設定したのは、受益者負担の考え方に沿っている。設定に当たっては、他スポーツ施設と同じ割合を根拠としていることに加え、支払いの利便性も考慮している。第2期戸田市スポーツ推進計画策定時のアンケート結果、「スポーツ団体やサークルに加入している」の割合が12.7%であり、一部の市民に限定してサービスを無料にすることは、公平性に欠ける。また、体育館利用団体へのアンケートから、一定の理解を得られていると考えられる上、SDGsに取り組む本市としても、公平性を保持している。

条例 議案第16号 戸田市高齢者総合介護福祉条例の一部を改正する条例 可決(賛成22人 反対3人)

反対 介護保険料の値上げが、少ない年金生活をしている高齢者の生活を圧迫する
必要なサービスが利用できないことに繋がる

日本共産党戸田市議団 むとう 葉子 議員

介護保険制度の財源は、50%が公費負担であるにも関わらず、国から交付されるはずの交付金が本市は少なく、介護保険料の値上げに繋がっている。法定外繰り入れを行い、介護保険料は引き下げるべき。また訪問介護の報酬が減額となり、ヘルパー事業所の運営は困難になる。介護保険料は値上げされ、これまでのサービスが利用できなくなる。市独自の高齢者歩行補助つえは、「転ばぬ先の杖」として、高齢者の自立した歩行を保つための福祉用具。値上げは市民サービスの後退となる。

賛成 ①法定外繰り入れを負担軽減の財源として考えるのは非現実的
②高齢者歩行補助つえ交付事業は調達価格の25%程度の負担となるため、過度な負担はない

戸田の会 酒井 郁郎 議員

介護保険では原則として税金の投入は禁じられており、法定外繰り入れを行っている自治体は全国的にも少数である。そのため、法定外繰り入れを負担軽減の財源として考えるのは非現実的。また、高齢者歩行補助つえ交付事業は、近隣の自治体と比べても手厚いサービスを提供していると考えられる。

条例 議案第17号 戸田市福祉保健センター条例の一部を改正する条例 可決(賛成22人 反対3人)

福祉保健センターは、令和6年度組織改正において、地域福祉政策部門を福祉保健センターに集約し、地域福祉政策と保健政策を一体的に進めるための機能強化を図ります。これに伴い、貸室業務を廃止し、土日を休館日とするための条例改正です。

賛成 納税者として、限られた財源を効果の上がらない分野に投入するのをやめ、効果の高い分野にリソースを再配置する政策改善を支持する

戸田の会 酒井 郁郎 議員

福祉保健センターの土日開所を終了し、休館日とすることは、現状利用者が少なく、職員が出動せずに済むことや、その人員を他のより重要な事業に再配置できる。特に、引きこもり問題への対応や訪問事業など、訪問の意義が大きい事業に人員を配置することは、地域の保健行政に大きな価値がもたらされると考える。

補正予算

議案第30号 令和5年度戸田市一般会計補正予算(第11号) 可決(賛成22人 反対3人)

反対 年度内の余剰金は、原油・物価高騰対策として積極的に市民生活に活かすべき

日本共産党戸田市議団 本田 哲 議員

財政調整基金の目的に照らし、一定額を積み立てすることに異を唱えるものではない。しかし、原油・物価高騰の影響により生活必需品を中心にさまざまな物の値上げが続き、生活の厳しさを訴える声が市民から届いている。令和5年度の余剰金から、財政調整基金に約30億円も積立てができるのであれば、原油・物価高騰対策として、補正予算を組むなど、積極的に市民生活に生かすべきであったと考える。

賛成 有事の際に必要な市民サービスを継続するためには、財政調整基金残高の維持が不可欠

戸田の会 宮内 そうご 議員

本市は物価高騰に対応する緊急支援策として、15歳までの子供の給食費を6か月間無償化するなど、市民生活のために必要な措置はしっかりと講じられてきた。また、必要な市民サービスを安定して継続するためには、適正な財政調整基金残高の維持が不可欠であると考えられる。なお、積立額が大きいのは、年初の資金需要が大きい時期に基金の取り崩しを行い、年末に同水準を積み直すためである。

人事

◎戸田市副市長

とよしま ひろあき
豊島 浩明 氏
(新任)



◎戸田市教育委員会委員

せんば けんいち
仙波 憲一 氏 (再任)

◎戸田市公平委員会委員

うしやま くにひこ
牛山 久仁彦 氏 (再任)

◎戸田市教育委員会教育長

とがさき つとむ
戸ヶ崎 勤 氏
(再任)



◎戸田市監査委員

おがわ ちえこ
小川 千恵子 氏 (再任)

《結果》 いずれも同意 (全会一致)

陳情

今定例会では4件の陳情が提出され、委員会にて審査した結果、いずれも継続審査となりました。

- ◇陳情第1号 年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情 **継続審査**
- ◇陳情第2号 選択的夫婦別姓制度の法制化を求める国への意見書の提出を求める陳情 **継続審査**
- ◇陳情第3号 国に対して離婚後の共同親権制度の導入を拙速に進めないように求める陳情書 **継続審査**
- ◇陳情第4号 「学校における犯罪から児童生徒及び教職員を守る体制整備を求める」陳情 **継続審査**

意見書

議員提出議案として意見書2件を可決し、国・政府に提出しました。

- ◇若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書
- ◇地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー(循環経済)の一層の推進を求める意見書

《結果》 いずれも可決 (全会一致)

委員会の審査から



- 総務委員会
- 文教・建設委員会
- 健康福祉委員会
- 市民生活委員会

議案や請願・陳情などは各委員会に付託され、慎重に審査されます。その経過と結果について、3月26日の本会議で各委員長から報告がありました。ここではその概要をお伝えします。

総務常任委員会

市長公室・危機管理防災課・企画財政部・総務部
会計課・消防・議会事務局・行政委員会事務局

〈令和6年度予算〉

委員 庁舎におけるバリアフリーの考え方は、

執行部 バリアフリー法の基準にのっとって進めており、利用者の意見を聞きながら改善を図っている。

委員 庁舎内で車椅子やベビーカーが引っかかってしまうことをよく目にするため、段差をなくしていくよう努めてほしい。

委員 施設予約システムのリニューアルに伴う利用者からの声は、

執行部 公共施設予約システムとスポーツ施設予約システムを統合し、ウェブ決済機能を追加しているが、使い勝手が変わったことで使いにくいといった意見もあることから、導入業者と調整しながら改善に努めていきたい。

委員 増額した予備費の考え方は、

執行部 予備費は緊急時など使い道が限定されているものの、必要な科目に直接充てることができるため、基金を取り崩すことに比べ災害発生時などに迅速な対応が可能になる。



戸田市施設予約システムのトップページ

健康福祉常任委員会

健康福祉部・こども健やか部・市民医療センター

〈戸田市福祉保健センター条例の一部を改正する条例〉

委員 福祉保健センター業務の土曜、日曜窓口開設の見直しに当たり、その影響は、

執行部 令和5年度まで、毎週土曜日及び第2、第4、第5日曜日に行っていた妊娠届出における母子健康手帳の交付は、当面継続するが、本来平日交付が望ましいため、職員体制も含め、今後の交付状況を見て検討する。また、成人保健相談は、予約制などで対応する。

〈令和6年度予算〉

委員 带状疱疹ワクチン接種費用の助成が始まるが、想定する接種率は、

執行部 令和6年度は接種対象者の3%程度が接種することを想定している。

委員 ワクチン接種を受けようと思えるような情報を積極的に発信してもらいたい。

〈令和6年度戸田市市民医療センター特別会計予算〉

委員 病棟の現状は、

執行部 令和5年11月から病棟の一部再開し、8床で稼働している。再開当初は稼働率が20%のときもあったが、現状では満床になることもある。

委員 ニーズが高いため、全再開を目指してほしい。



市民医療センター

文教・建設常任委員会

都市整備部・教育委員会事務局

〈令和6年度予算〉

委員 公共交通の見直しをどのように行っていくか、

執行部 地域公共交通協議会の場で、客観的データを基礎資料とし、さまざまな立場からの意見を取り入れながら、公共交通網全体の見直しを図っていく。

委員 市民の利便性を確保できるよう、しっかりと検討を。

委員 美笹中学校の再整備計画をどのように進めるのか、

執行部 令和6年度は、コンセプトなどの検討に当たり、さまざまな立場の者による検討委員会を立ち上げ、検討を進めていく。

委員 死角がないような安心、安全な校舎整備を検討してほしい。

〈令和6年度土地区画整理事業特別会計予算〉

委員 戸田翔陽高校付近の道路の整備予定は、

執行部 外周すべての拡幅箇所を整備していく。

委員 南側道路は利用者が多く危険な箇所があるため、道路拡幅整備を少しでも早く進めてほしい。



戸田翔陽高校南側道路

市民生活常任委員会

市民生活部・環境経済部・水安全部

〈戸田市スポーツ推進条例〉

委員 スポーツセンターの再整備の検討方法は、

執行部 条例にスポーツ施設の強化や環境整備などを規定しており、令和6年度に基本構想を検討する委員会を立ち上げる予定である。



スポーツセンターの再整備について検討されます

〈令和6年度予算〉

委員 プレミアム付電子商品券事業のTODA PAYの活用方法は、

執行部 市内事業者からのポイント付与を検討しており、日常的な利用の促進につなげていきたい。

委員 プッシュ型の情報発信により、市に関心を持ってもらえるよう活用してほしい。

委員 ごみの不法投棄への対応は、

執行部 分別できていないごみや曜日が違うごみは、ルールを守るようシールを貼って啓発しているほか、悪質な場合は本人を特定して指導している。

委員 公園内の喫煙への対策は、

執行部 基本的には利用者のマナーによるところであるが、市として健康維持の視点から研究していきたい。

委員 社会実験の実施や試行的に時間帯で区切るなどの取り組みを検討してほしい。

各派代表者が市長に聞く！

総括質問

総括質問とは、新年度の施政方針に対する質問で、2人以上で構成する会派による代表制質問のことです。

今定例会では、3月5日の本会議において、5人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをたしました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の総括質問の録画配信映像をご覧ください。



だせい
惰性による支出を止め、
方向転換を

"ズルズル現象" 断ち切る

戸田の会
酒井 郁郎 議員

議員 既存事業の効果を精査し、少子化・高齢化や災害・戦禍への備えなどに予算を投入すべきだ。

市長 変化に対応し社会課題や市民ニーズに応える。既存事業を見直し、効果的な予算編成を行う。

産後サポートをしっかりと！

議員 産前産後の心身が不安定な時期、孤立の中で育児する母親が多い。面倒な手続きのない産後ケアを。

市長 全産婦を対象に宿泊型及び通所型の産後ケアを実施する。ニーズに合ったサービスを自由に選択できる制度を作る。

学校の建て替えは長期的な視点で

議員 建て替えは60年に1度のチャンス。今後の地域ニーズや教育内容を勘案し、施設分離型の

義務教育学校として整備するなどが考えられる。直近予定されている美笹中学校の建て替えについては。

市長 市民開放について、防犯や学校運営の観点を踏まえ検討していく。

健康長寿はシニアの社会参加から

議員 元気なうちからプッシュ型で社会参加を促していくことはできないか。シニアの要望に合った仕事を開拓し、就労をアシストしたい。

市長 さまざまなメニューが見える化&広く周知し、シニアの背中を押したい。ハローワークとの連携や、シニア人材を募集する企業とのマッチングを行う説明会を開く。



シニアの多様な仕事を開拓し、シニアの就労を拡大することが大事

スポーツセンターの 建て替えは

2年間で基本構想の策定を 進める

みらいの会
榎本 守明 議員



議員 スポーツセンターの建て替えは現在の利用者が利用しながら工事を進める事が必要。スポーツセンター周辺の区画整理地やJRの環境空間を活用しながら建て替えを進めてはどうか。また、建て替えの基本構想の策定を今後どのように進めていくのか。

市長 今後2年間で、基本構想の策定を進め、基本構想策定に当たっては、工事期間における施設利用の影響を可能な限り抑える事が出来る手法を検討する。また、スポーツセンター付近の環境空間の活用も含めて検討する。

新曽土地区画整理事業について

議員 新曽第一土地区画整理事業特別会計予算を約13億8千万円増額したが、事業が完了するま

で必要十分な予算を確保する努力をすべきである。雨水対策の調整池整備も含めて今後どのように進めていくのか、また、予算確保の考え方について伺う。

市長 地方債を利用する事による事業費の平準化、補助金及び交付金の項目見直し・追加による国費獲得に力を入れる。新たに「都市再生区画整理事業」を加えることが可能となり総事業費に占める国費が大幅に増額する見通しとなった。また、現在、雨水排水計画の見直しを進めており既存水路や暫定雨水管活用による雨水対策、調整池見直しなどによる効果的な取り組みについて検討を行っている。



建て替えの基本構想の策定が進められます

こども医療費拡大の目的は

経済的負担軽減、健康向上 を図るため

公明党
竹内 正明 議員



議員 高校3年生相当までの支援拡大の目的は。

市長 子育て世帯の経済的負担の軽減及び子供の健康の向上を図るため、令和6年7月から通院費の対象を高校3年生相当の子供まで拡大することとした。



带状疱疹ワクチン接種費用の助成について

議員 当事者の切実な声を届け要望してきた带状疱疹ワクチン接種費用の助成について伺う。

市長 多くの要望、社会的ニーズの高まりなどを鑑みて、本市においても带状疱疹ワクチン接種費用の助成を実施することとした。助成額については、生ワクチンは4,000円、2回接種を行う不活化ワクチンは1回につき1万円、2回で2万円とした。

スーパー・シティプロジェクトのモデル事業について

議員 埼玉版スーパー・シティプロジェクトのモデル事業について伺う。

市長 「多様な主体の交流機能」及び「助け合い機能」を付加した「新たな子ども支援活動拠点」を市福祉保健センター内に整備する。

ゼロカーボンシティに係る取り組みについて

議員 2050年ゼロカーボンシティの表明と温室効果ガス排出量の削減の取り組みについて伺う。

市長 環境基本計画改定に併せ表明を予定。温室効果ガス排出量削減へ3つの補助制度を創設。美里町との連携で地球温暖化対策の推進などを予定。



将来的な人口減少に向けての対策は

令和 32 年まで増加が続くと見込む

令和会
さいとう なおこ
齋藤 直子 議員



議員 2023 年の住民基本台帳に基づく「人口移動報告」で、市は県内 3 番目の転出超過となった。将来的な人口減少に向けての対策は。

市長 令和 32 年まで人口増加が続く見込み。事業の優先度は、人口の増減、年齢層の変化にも着目し、各年代のニーズに合わせた事業展開を検討し、必要な財源を効果的に投入できるよう取り組む。

議員 目指す人口規模のビジョンを明確にするために、人口分析を行なうチームの設置を要望する。

市内樹木の保存についての考えは

議員 美里町とカーボンオフセットで森林整備をしていくとのことだが、市内樹木の保存の考えは。

市長 緑の基本計画に基づき、樹木の保全に努めているが、止むを得ない伐採が増えている現状がある。植物が本来有する能力を人工的に補完するグリーンインフラの考えにより、緑化を計画的に推進することで、温度の抑制や二酸化炭素の吸収にも寄与すると考える。



緑があふれていた以前の市役所

市役所庁舎の健全度調査の実施は

議員 庁舎敷地の外構である擁壁の経年劣化に係る修繕とともに、庁舎の躯体などの調査も必要と考えるが、実施は。

市長 平成 27 年度の調査結果を踏まえ、再度実施する予定はない。

議員 「DX」というワードに象徴される変革の時代にあった庁舎を要望する。

めの予算措置を。

市長 スクールサポーターの運用はまだ始めたばかりであり、今後、成果や課題を分析し研究する。

2050 年ゼロカーボンシティ宣言の表明を

議員 地球温暖化対策のさらなる強化のため、2050 年ゼロカーボンシティ宣言の早期表明を。

市長 表明は、3 月議会閉会后、速やかに表明する。

福祉センターの在り方を検討する観点は何か

議員 災害が起きた時に避難所となる福祉センター。どのような観点で、在り方の検討を行うのか。

市長 社会状況や地域のニーズなどをしっかり把握し、どのような役割や機能が必要かを検討する。



災害時の避難所となる福祉センター

一般質問

そこが聞きたい!

議員は、毎年 3 月、6 月、9 月、12 月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、15 人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載している QR コードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧ください。



困難女性支援法



つぶやき

アウトリーチと伴走型の相談支援強化が重要

戸田の会
あそ かつ ひで
浅生 和英 議員

Q 4 月から施行される。相談体制の強化を

A 相談支援体制の在り方を検討していく

議員 これまでの法制度では、支援内容が多様化・複雑化する中で、女性特有の問題に対する支援が不十分であった。支援団体との協働なども盛り込まれ、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が 4 月から施行される。相談体制の強化を求める。

市民生活部長 相談体制の強化は、職員の研修受講によるスキルの向上などが考えられる。県の基本計画の内容を踏まえ、相談支援体制の在り方を検討していく。

その他の質問

Q 重層的支援体制整備事業で相談体制の強化を。

A 事業の導入で、共通認識を持ちながら統一的な対応が期待され、アウトリーチの相談支援体制の強化が図れる。

Q 今回の図書館システム更新を評価している。環境整備としてテレワークブースの設置はどうか。

A 指定管理者や利用者の意見を踏まえ研究する。

Q 消防団詰所の老朽化などの更新について、計画的に行ってはいかがか。

A 今後、調査を含め計画的な整備を研究する。



消防団第 6 分団

横断歩道橋の老朽化

録画配信 

地域の声を聞き、
地域の特徴を踏まえ対応を

つぶやき

みらいの会
そごう 拓也 議員

Q 市が管理する歩道橋の利用状況と管理は

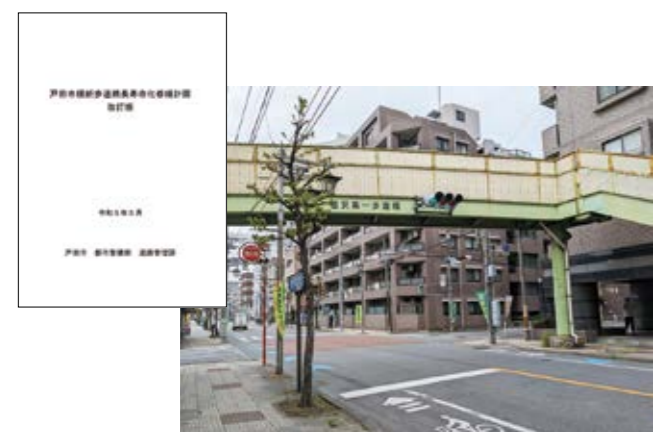
A 定期点検し、必要に応じた補修などを行う

議員 市が管理している歩道橋は5橋あるが、うち2橋は建設後50年を超える。1969年架設の喜沢第一歩道橋は、供用年数が55年経ち老朽化している。利用状況及び管理状況について伺う。

都市整備部長 令和4年3月「戸田市横断歩道橋長寿命化修繕計画」を策定した。5年に1度損傷状況や健全度を診断し、必要に応じた管理・補修を行っている。通行量は7時から19時の12時間で、喜沢第一歩道橋78人、笹目第一歩道橋384人、稲荷歩道橋1,364人である。戸田公園駅前高架通路西側及び東側2橋は調査していない。なお、車両交通量調査から10年以上経過しているので、点検時に調査できるよう検討する。

議員 歩道橋長寿命化修繕計画改訂時には、集約化・撤去、修繕の推定も必要となる。ニーズも社会、交通、経済環境と共に変化している。計画の判定、対策、概算費の判断にあたり、地域ニーズも踏まえ改訂をすべきではないか。

都市整備部長 計画に記載のとおり、維持・管理費の増、利用状況、迂回路の有無などを踏まえ、代替可能な横断歩道橋について集約化・撤去を行う。なお、地域ニーズは留意事項として加えるなどの工夫を行う。



建設後50年を超える喜沢第一歩道橋

医療的ケア児支援

録画配信 

医療的ケア児の家族の人生も尊重される支援を

つぶやき

戸田の会
宮内 そうこ 議員

Q 医療的ケア児支援のために行政間の連携を

A 相互に情報共有、連携を図り、支援する

議員 医療、保健、福祉、保育、教育など多岐にわたって支援が必要な医療的ケア児などやその家族が、年齢に応じた支援を受けるための行政間の連携は。

健康福祉部長 行政間で相互に情報共有、連携を図り、適切な支援につなげていく。

議員 保育園の医療的ケア児の受入状況は。

こども健やか部長 公立の新曽保育園において合計2名となる予定である。

議員 公立小中学校の医療的ケア児の受入体制は。

教育部長 適切な医療的ケアを実施できるよう医療機関と連携しながら体制整備に努めていく。

議員 地域の学童保育室の医療的ケア児の受入体制は。

こども健やか部長 医療的ケア実施が可能と判断した場合、保育場所や人材確保などの受け入れ準備を行う。

議員 災害時の支援は。

危機管理監 蓄電池などを避難所で充電できる環境を整えていく。



その他の質問

Q 公園のトイレの洋式化のスピードアップを。

A 公園トイレ全体の洋式化を計画的に進めていく。

認知症対策

録画配信 

認知症になっても安心して暮らせるまちに

つぶやき

公明党
三浦 芳一 議員

Q 軽度認知障害の受診体制確立を

A 認知症ケアパスで早期発見・受診促す

議員 発症前の軽度認知障害(MCI)の対応が大事。早期発見のため、今後の受診体制の確立を。

健康福祉部長 認知症ケアパスの中で解説し、早期発見のために受診を促す。

議員 フランス語で「あなたを大切に思っている」ことを表現する技法で、ユマニチュードの推進を図ってはいかがか。

健康福祉部長 より良いケアが実現するよう、講座などの機会を通じて情報発信をしていく。

Q 災害関連死防止策「T・K・B・W」の拡充を

A 「T・K・B・W」に配慮した避難所運営を目指す

議員 災害関連死防止対策のため、T(トイレ)K(キッチン)B(ベッド)W(暖)、特にトイレ対策の拡充を。

危機管理監 清潔なトイレ、必要な食糧、体を休める寝床、寒さ対策に配慮した避難所運営を目指す。

議員 ブラックアウト、冬季・夜間訓練の実施を。

危機管理監 参加者を増やす工夫を行い、内容もブラッシュアップし実践的な防災訓練を実施していく。



大規模停電を想定した訓練で非常時の対策を

公共交通の維持

録画配信 

新しい公共交通網の構築を!

つぶやき

公明党
みうら 伸雄 議員

Q 公共交通維持と利便性向上の施策を

A 地域公共交通協議会で議論し進めていく

議員 西川61系統が3月31日をもって廃止となるが、路線バスは市民にとって重要な交通手段のひとつである。今後の路線維持に必要な事業者支援について本市の考えを伺う。

都市整備部長 「西川61および西川62系統」に対し、平成22年度より運行経費に対する補助を毎年実施してきたが、西川61系統については、赤字路線からの脱却がなされない中、運転手不足などを理由に廃止する事となった。残る「西川62系統」の路線維持に向け、令和6年度以降についても引き続き、事業者支援を行う予定としている。

議員 現在tocoバスが走っていない地域である、美女木北1丁目から3丁目における移動実態の分析はどのようなデータに基づいて行われるのかを伺う。

都市整備部長 交通ビッグデータは、スマートフォンなどから取得した位置情報を集計・加工したもので、人の動きや滞留、発着点などの詳細な分析を行うことができる。そのため、バス路線のない地域における実態把握も可能であり、議員お話のエリアも含め、広く公共交通網全体の議論を進めていく。



発達障害相談

録画配信

つぶやき
相談してよかったと思える相談体制整備を

戸田の会
佐藤 太信 議員

Q 相談体制整備と連携強化を

A 各部署と協議を進めていく

議員 発達に関して、発達相談の窓口がわかりやすく、適切に対応してもらえることが重要。相談体制整備と連携強化を。

健康福祉部長 発達に関する相談がどこでも対応できるよう、相談体制と連携強化について各部署と協議を進めていく。



わかりやすい子ども発達相談センターの窓口

Q 障害者スポーツができるよう設計を

A 手法について検討する

議員 本年はパリオリンピック・パラリンピック、来年はデフリンピックが東京において開催される。市内出場選手を応援し盛り上げていくために、大会開催の周知や応援を。

市民生活部長 大会の周知、出場選手の応援を行う。

議員 スポーツセンターの建て替えにあたっては、障害者スポーツが支障なくできるよう設計を進めてほしい。設計段階で障害当事者や関係者からの声が反映される仕組みの検討を。

市民生活部長 スポーツセンターの再整備で、より利便性の高い施設となるよう、基本構想策定や設計業務の段階において、施設を利用するスポーツ関連団体のほか、障害のある方からのご意見もいただけるよう手法について検討する。

議員 バリアフリーが整備され、障害のある方が運動・スポーツがしやすい環境に改善されると期待している。

持続可能な町会

録画配信

つぶやき
町連からの意見書には必ず取り組んでほしい

令和会
山崎 雅俊 議員

Q 町会自治会の負担軽減にどう取り組むか

A 持続可能な運営に向けて連携していく

議員 市から要請する各種委員の推薦や充て職を減らすべきではないか。

市民生活部長 今後、負担軽減に向けて委員の就任や推薦人員の見直しなど検討していく。

議員 各種募金などへの協力依頼の在り方を見直すべきではないか。

健康福祉部長 募金については任意によるものであり、その趣旨にご理解をいただきながら協力をお願いしている。県共同募金会や日本赤十字社に負担軽減や協力の在り方について検討していただくよう伝えていく。

議員 市内全地域に導入している地域担当職員を活動支援のためにもっと活用すべきではないか。

市民生活部長 2年間の活動を通してさまざまな課題が見えてきている。今後の在り方については、先進事例の調査を行うなど、検討していく。

議員 家庭ごみの収集方法を個別収集にすべきではないか。

環境経済部長 現在のステーション方式は町会・自治会の負担要因の一つとなっているが、ごみ収集の方法変更は財政面や市民生活への影響が大きいので、先行自治体の例などを参考に研究していく。

議員 町会・自治会活動の更なる負担軽減を強く要望する。



令和6年市民生活常任委員会提言書

幼児・児童の視覚検査

録画配信

つぶやき
6～8歳までに目の異常を確実に検知しよう

戸田の会
野澤 茂雅 議員

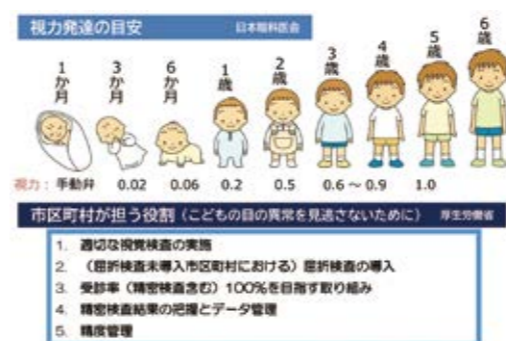
Q 最新屈折度測定器SVSの導入は

A 性能や利点などを精査し検討していく

議員 3歳6か月児健診における視覚検査の内容は。
健康福祉部長 家庭でアンケートとランドルト環の事前検査、健診当日は視能訓練士の屈折検査と小児科医の診察を実施。結果を視能訓練士が総合判断し異常が疑われる場合、眼科医への紹介・受診を勧奨している。

議員 将来のDXも考慮しながら1人1人のきめ細かいデータ管理、分析、予後フォローを進めて欲しい。また、視覚は6歳～8歳でほぼ完成する。将来の目の健康のためにも、最新測定器による正確な検査での異常検知と早期治療の開始が重要。最新屈折度測定器のスポットビジョンスクリーナー(SVS)の導入は。

健康福祉部長 多くの自治体で導入されているSVSについて、視覚検査の有効な手段の一つとして性能や利点などを精査し、他市の状況も見ながら検討する。



Q 交差点の一時停止廃止についての対策は

A 接触事故を回避するための対策を実施している

議員 交差点の一方の一時停止が廃止されているが。
都市整備部長 周辺環境変化による事故のリスクが高い箇所、市民情報などから、接触事故を回避するために車止めポールを設置や路面標示を実施している。

花火大会

録画配信

つぶやき
花火大会は、市民のための大会です

みらいの会
古屋 としみつ 議員

Q 市内先行販売を増やすことはできないか

A 座席の拡充を進めて行く

議員 昨年は、2万席の有料席に対して市内優先販売数が1,154席、販売店数1か所。これでは、あまりにも少なく、市民のための大会とは程遠いものではないか。

環境経済部長 次回大会では、より多くの市民が楽しんでいただきたく、少しでも座席の拡充ができるよう準備していく。

議員 ネットでの一般販売数も、市民の皆様への販売数が全体の30%との事だが、少なすぎる。全数市民優先期間を設け販売してはどうか。

環境経済部長 現在のシステムによる市民先行販売は困難と考える。

議員 昨年は、無料の自由席が背丈ほどの雑草で利用しにくかった。無料部分の整備も含め、市内先行販売枠の座席数、販売店数を増やし、ネット販売分においても市民優先期間など設けて、市民のために大会を進めて行くことを要望する。



より多くの市民が楽しめる花火大会を(会場外から撮影)

その他の質問

Q 彩湖・道満グリーンパーク内のソフトボール場の本格的なグラウンド整備を進めていただきたい。

A 令和6年度に本格的な修繕を行い、状態を改善する。

録音配信 **保育環境の整備**

保育士さんにとって働きやすい環境を！

公明党 **三輪 なお子** 議員

Q 保育士確保と離職防止のための施策は

A 「とだ保育士応援手当」を新設

議員 保育士確保と離職防止のための施策を伺う。
こども健やか部長 市内保育所などを対象に実施したアンケート調査では、6割以上の施設が人手不足で、安定的に保育所を運営するためには合計93人の保育士が不足している結果となった。保育士の確保と離職防止を図るため、現行の賞与への上乘せ補助制度から月額支給へ見直し、金額についても現行の年額20万円から年額40万8千円に倍増した。

議員 潜在保育士の確保に向けた施策について伺う。
こども健やか部長 市内保育所での見学や職場体験を行う機会を提供する。

議員 今後の保育のビジョンについて伺う。
こども健やか部長 保育の質と魅力の向上を図り、利用者や保育士に選ばれる、オールとだの保育園づくりを推進していく。



オールとだの保育園づくりを推進します

その他の質問

Q 小中学校でのオーバードーズを含めた薬物乱用防止の対策は。
A SNSに掲載するなど情報発信し、啓発に努めている。

録音配信 **川岸物流施設**

住民の意見を聞いてまちづくりを進めてほしい

日本共産党戸田市議団 **むとう 葉子** 議員

Q 川岸交差点の更なる交通安全対策を

A 必要に応じ、県や蕨警察署と相談する

議員 川岸物流施設が今年1月末に完成した。①施設内の公開空地を通学路としているが、見守りなどの安全対策は②川岸2丁目交差点に注意喚起、事故の多い川岸交差点に歩車分離信号機設置を要望するが、市の考えは③都市計画における用途地域の変更を。都市マスタープラン見直しの中で、どのように考えているか。

教育部長 ①戸田第二小学校は3月8日に通学班会議を行い、教師と児童と一緒に通学路の安全を確認。多くの方々の支援をいただきながら児童生徒の安全が守られるよう努めていく。

都市整備部長 ②施設運営事業者に、大型車両運転手に対して、安全運転を心掛けるよう伝える。注意喚起と歩車分離信号機設置については、施設稼働後の交通状況を踏まえた上で、必要に応じ蕨警察署に相談する。③都市マスタープランの見直しには、関係権利者との合意形成が重要。地域が一体となる話し合いの場を設け、幅広い方からのご意見を反映できるよう努める。その中で、用途地域変更の要望があった際には、改めて将来の土地利用方針を検討する。



防犯も含めた通学路の安全対策が求められます

その他の質問

Q プレミアム付商品券は、紙の商品券の準備を。
A 利用者の利便性向上や加盟店舗の事務負担軽減などを考慮し、電子商品券のみとした。

録音配信 **宅配ボックスの設置**

再配達を減らすだけで多方面にメリットがあるはず

立憲民主とだ **小金澤 優** 議員

Q 設置に対する考えは

A 今後の動向を注視し、判断する

議員 昨年12月の川口市議会では、県内初の新規ワンルームマンションにおける宅配ボックス設置義務が決まった。本市の見解と義務付けの可能性は。

都市整備部長 他の自治体は、感染症拡大防止や再配達に伴う宅配車両の二酸化炭素排出防止に貢献できると捉え、条例を改正しており、一定の効果は見込まれると考える。本市における宅配ボックス設置の義務付けについては、今後の動向を注視し、判断する。

議員 今後、都市部の多くの自治体で設置義務付けの広がりが予想される。既存の個人宅や集合住宅において、宅配ボックス設置に利用できる助成金制度はあるか。

環境経済部長 「戸田市環境配慮型システム等設置費補助金」制度において、戸建て住宅・事務所、集合住宅などに宅配ボックスを設置する場合、補助金の交付を行っている。

議員 新規のマンション建設がある場合は義務付けし、既存の住宅には補助金を利用してもらうなど効果的な方法を検討していただきたい。



宅配ボックス設置の際は市の補助金制度の活用を

その他の質問

Q 「涼める場所」の利便性と周知を。
A クールシェアとまちのクールオアシスの取り組みを一体的に周知・啓発していく。

録音配信 **能登半島地震**

過酷な避難所からの避難を！

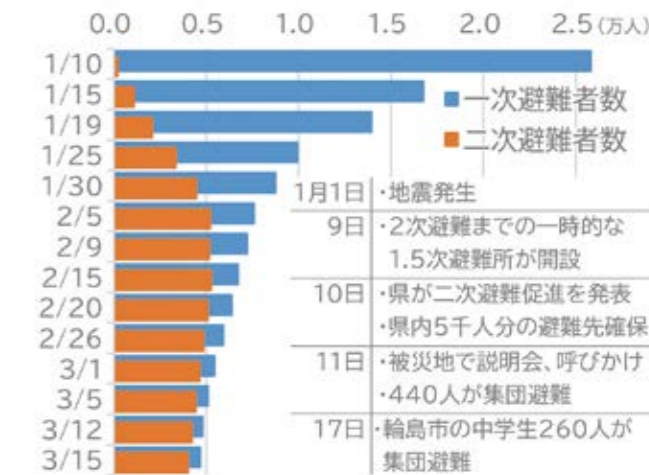
戸田の会 **矢澤 青河** 議員

Q ホテルや旅館などへ移る二次避難の推進を

A 改めて重要な課題と認識。調査研究する

議員 損壊した住宅は8万棟以上、3月15日時点で、1万戸以上の断水が続き、被災地では、なお4,600人以上の方が避難所生活を強いられている。暖房や物資の不足、断水やトイレなど衛生環境への不安、プライバシーが無く休まらない避難所生活など、厳しい被災地の状況が報道された。被災者の心身の負担や災害関連死を減らすためには、劣悪な一次避難所に固執せず、環境が整った被災地外のホテルや旅館などへ移る二次避難を迅速に進める必要がある。能登半島地震では、県が二次避難を促進したが、以下のような課題もあり、難航した。①受入れ先の自治体やホテルなどの役割分担・条件整備が具体化されないまま避難が進み混乱した②被災者への理解促進不足で二次避難に遅れが生じた③自治体の二次避難の想定が乏しい。県と連携し、広域的な避難計画や協力体制が必要と考えるが、本市でも初動で二次避難が行えるよう推進を。

危機管理監 二次避難は能登半島地震で大きな注目を集め、改めて重要な課題と認識された。大規模災害では埼玉県との連携による受け入れ先確保が想定されるので、調査研究を進める。





録画配信 **地球温暖化対策**

美しい地球を孫たちの時代へ手渡すために

日本共産党戸田市議団
花井 伸子 議員



録画配信 **マンション建設**

住環境を守りたい方は録画配信をご覧ください

とだ彩光会
林 冬彦 議員

Q 公共施設へ積極的に太陽光発電設置を

A 導入可能性調査を実施する

議員 地球温暖化による影響は、人間の生存基盤そのものが危機的状況に陥りかねないといわれており、温室効果ガス排出量削減は待たなしの状況である。「ゼロカーボンシティ表明」と合わせた、令和6年度の具体的な取り組みは。公共施設への積極的太陽光発電の設置を。

環境経済部長 家電買い換えに対する補助金の創設、再エネ由来電力への切り替え支援協力金、温室効果ガス排出量可視化等の事業者への補助金、省エネ・再生可能エネルギーの利用拡大、市としては美里町への森林整備によるカーボンオフセット、公共施設への太陽光発電等の導入可能性調査、公共施設への再エネ100%電力調達を進める。

議員 各計画期間の数値目標と達成状況の見える化を。

環境経済部長 一人ひとりが「じぶんごと」として温暖化対策に取り組んで行けるよう、更なる見える化について検討する。

議員 「温暖化対策室」を設置してはどうか。

環境経済部長 温暖化対策を効果的に推進し、目標を達成するために、関係部署と調整を図り検討する。



市庁舎4階の屋上庭園に設置してある太陽光パネル

Q 工事中の問題についての相談窓口は

A 建築住宅課で一般的に対応する

議員 本市本町2丁目マンション建設工事・車両交通の安全や住環境維持を不安に思う地域住民の思いを背景に伺う。本市におけるマンション建築に関連する法律・条例や指導条項にはどのようなものがあるか。

都市整備部長 「建築基準法」「同法施行令」「同法施行規則都市計画法」や「景観法」を遵守する必要がある。本市では、宅地開発該当の際は「戸田市宅地開発事業等指導条例」、高さ10mを超える際は「戸田市中高層建築物等の建築に係る紛争の防止と調整に関する条例」を遵守する必要がある。加えて「戸田市健全な教育環境確保のための住宅開発抑制に関する指導要綱」がある。その他、建物のバリアフリー化を目的とする「埼玉県福祉のまちづくり条例」なども関係する。

議員 騒音、振動、道路混雑、道路の安全確保、工事車両の排気ガスについての相談窓口は。

都市整備部長 建設中の相談全般は「建築住宅課」に。騒音・振動・排気ガスは「環境課」でも話を伺う。騒音計貸出や職員による振動計測定にも対応している。

議員 住民の立場は事業者より弱い。「住民・市・事業者が良好な近隣関係・住環境を共に創る」という観点での条例見直し・新規制定、取り組みを強く要望する。



市内マンション計画地

議会topics

※ 災害時のための計画「戸田市議会DCP」の策定



災害発生時に適切な優先順位をつけ、市の議決機関として議会制民主主義を維持するために必要な指針を定めました。

また、市災害対策本部と連携を図って支援するとともに、議員の迅速かつ適切な対応・活動により被害の拡大防止および災害の復旧・復興に寄与するため、必要な事項を定めました。

※DCPとは一般的に、災害時における業務継続のための計画はBCP(Business Continuity Plan)ですが、本市議会では、議会制民主主義を維持させるための計画として、Democracyの頭文字をとり、DCPとしています。

議会モニターに委嘱状を交付しました

今年度の市議会モニターに応募いただいた3名の方々に、議長より委嘱状を交付しました。任期は令和7年2月5日までの1年間で、議会モニターの方々には議会の傍聴などを通してさまざまなご意見をいただき、今後の議会運営に生かしていきます。



戸田市「ありがとう」を伝え合おう条例を制定



「ありがとう」をもっと伝え合うことを上げられるよう、令和6年2月臨時会において、総務常任委員会の委員会提出議案として提出され、可決されました。

なお、本条例は、「ありがとう」を伝え合うことを強制するものではなく、あくまで、心の中から感謝の気持ちが自然と湧きあがったときに、それを伝え合う意識を醸成するものです。

議会改革度ランキング 総合第29位 県内第2位

早稲田大学マニフェスト研究所が行った、議会改革度調査2023において、全自治体の87.6%にあたる1562議会の中で、戸田市議会は総合第29位(県内第2位)となりました。少しずつではありますが、今日まで行ってきた改革が着実に実を結びつつあることが評価されたのだと思います。これからも市民に信頼される議会を目指し、努力していきます。



令和5年 戸田市議会年間活動成果

政策立案・政策提言：条例1件、提言書4件 議会改革：服装の自由化など計3件

委員会名	年間活動テーマ	年間活動成果	
政策立案・政策提言	総務常任委員会	戸田市における防災対策について	提言書を執行部へ提出
		戸田市「ありがとう」を伝え合おう条例の制定について	条例を制定
	文教・建設常任委員会	学校における防犯体制の強化について	提言書を執行部へ提出
	健康福祉常任委員会	子ども・若者の支援について	提言書を執行部へ提出
	市民生活常任委員会	町会・自治会と行政の関係について	提言書を執行部へ提出
議会改革	議会改革特別委員会	議員の服装自由化について	令和5年3月定例会からの試行実施を経て、令和5年12月定例会から本格実施
		戸田市議会 DCP について	戸田市議会 DCP を策定
		オンライン委員会の開催要件等について	公務、疾病、看護等の事由によるオンライン出席ができるよう、会議規則及び委員会条例を改正

総務委員会 より実効性のある防災対策を

首都直下地震や南海トラフ地震、頻発する豪雨災害など、さまざまな災害のリスクを抱えているなか、本市の防災対策がより現実的で実効性のあるものとなるよう、「戸田市における防災対策の提言書」を危機管理防災課に提出しました。

情報発信の充実、マイ・タイムラインの普及、安心できる避難所などの運営・整備など、さまざまな角度から提言をしています。



1月29日 危機管理防災課へ提言書を提出

文教・建設委員会 学校における防犯体制のさらなる強化を

本市の小中学校において既存の防犯体制が強化されるよう、先進事例の調査・研究を行い「学校における防犯体制の強化に向けた提言書」を提出しました。提言では、「学校内における防犯」「通学時における防犯」「教職員の立場における学校の防犯」「その他」の4つの項目により、防犯体制が強化されるような取り組みを述べており、特にオートロックやフェンスの設置については、順次、市内の小中学校に展開されていく予定です。



1月29日 教育委員会事務局へ提言書を提出

各委員会では、年間活動テーマや検討事項を定め、行政に対する政策立案・政策提言や議会改革を積極的に行っています。

ここでは、令和5年における各委員会の活動成果の概要をお伝えします。



提言書などの詳細はこちら

健康福祉委員会 すべての子ども・若者が、健やかに成長できる社会の形成を

さまざまな課題が増大している子供・若者を取り巻く環境の中でも、「発達支援」「ヤングケアラー支援」および「ひきこもり支援」に焦点を当て調査・研究を行い「子ども・若者の支援についての提言書」を提出しました。発達支援では、切れ目のない支援や多様な専門職による支援を、ヤングケアラー支援では、周知・啓発及び支援体制の整備を、ひきこもり支援では、正しい理解と効果的な支援について、それぞれ提言しています。



1月29日 健康福祉部、こども健やか部へ提言書を提出

市民生活委員会 持続可能な町会・自治会に向けて

町会・自治会の加入率の減少や担い手不足などにより、以前のような地域活動が難しくなっています。現状と課題や市との関係性に着目し、調査・研究を行い、「持続可能な町会・自治会に向けての提言書」を提出しました。「依頼事項の見直しと負担軽減」と「活動活性化支援」の視点からそれぞれ提言しています。お互いの立場や役割を理解した上で、町会・自治会との協働によるまちづくりを推進していくことが期待されます。



1月29日 市民生活部へ提言書を提出

戸田橋花火大会への要望書を提出

市民生活常任委員会では、今年の戸田橋花火大会の開催に向けて、昨年の課題であった西会場へのアクセスや受付対応の改善のほか、混雑状況のホームページ・SNS配信、出店エリアの見直し、有料席以外の観覧場所の整備、ライブ配信、障がい者への送迎の検討など、市民が楽しめる花火大会となるよう各種対策を講じることを要望しました。



戸田橋花火大会への要望書を提出

表紙写真紹介



Instagram
は・じ・め・ま・し・た

フォロワー 14 万人チャレンジ!

市議会の活動を身近に感じていただくための取り組みとして、昨年 11 月の議会公式 Facebook 開設に続き、この度、第 2 弾として公式 Instagram を開設いたしました。

本会議や委員会の日程をはじめ、議会におけるイベントなどの活動全般や各議員や各会派の紹介等、議会だよりでは伝えきれない情報を投稿していきます。本号では表紙に Instagram の QR コードを掲載しました。ぜひ、「フォロー」や「いいね」をお願いします。

題字を
書いて
くれた人



とだ

私が気を付けたところは、文字のバランスと線の強弱です。文字の空間を広くしたり、所々線を太くしたりしました。書道教室の先生にもアドバイスをいただき、納得のいく字を書くことができました。

美谷本小学校 6年 くろさわ かほ 黒澤 佳帆 さん

次回 6 月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
	5/27	28	29	30 議案 説明	31	6/1
2	3	4	5 質疑	6 常任 委員会	7 特別 委員会	8
9	10 一般 質問	11 一般 質問	12	13 一般 質問	14 一般 質問	15
16	17	18	19 討論 採決	20	21	22



議会を知っ toco! 市議会見学ツアー

市議会では、広く議会を知ってもらうために、「議会を知っ toco 市議会見学ツアー」を実施しています。議場など、普段入ることができない

場所を見学して市議会を身近に感じてみてください。申し込みなどの詳細はホームページでご確認ください。

詳細はこちら▶



市議会を見学してみませんか



編集後記

令和 6 年度は 4 年間の任期最終年となります。これまで、「分かりやすい」「親しまれる」「すっきりとした」の 3 つのポイントを意識しながら議会だよりの編集を行ってきました。また、令和 4 年 3 月定例会号からは、議会モニターからのご意見などを踏まえ、縦書きから横書きに変更するなど、さらに読みやすくなるようリニューアルを行ってきました。

改選まであと 2 刊となりますが、引き続きご愛読いただき、ご意見・ご感想をお寄せいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



* 本紙は環境に配慮し「バイオマスインキ」を使用しています

※「QRコード」はデンソーウェーブの登録商標です

